

**令和 4 年度
地産地消に関するアンケート結果**

**2023年（令和5年）3月
藤沢市**

1 令和4年度地産地消に関するアンケート調査結果

1 調査概要

(1) 実施目的

本アンケートの目的は、地産地消及び藤沢産農水産物に対する意識や関心、消費者の購買動向などについて調査し、今後の施策や事業の検討の参考とする。

(2) 実施方法

郵送アンケート調査

(3) 調査設計

- (1) 調査地域 市内
- (2) 調査対象 市内在住の18歳以上90歳未満の男女
- (3) 対象者数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 回答方法 郵送回答もしくはWEB回答
- (6) 期間 2022年11月1日(火)発送/11月30日(水)締切

(4) 回答状況

1,354人から回答(回答率45.1%)
うち、郵送 1,010件 WEB 344件

(5) 対象者内訳

次の年代別対象者数を前提とした地区別人口比に応じて抽出

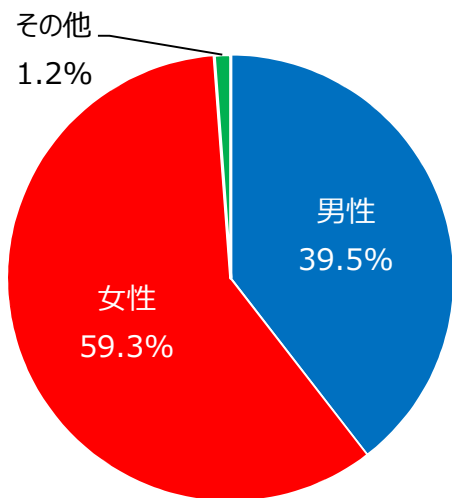
年代	対象者数(人)	年代	対象者数(人)
18歳・19歳	375	50歳代	375
20歳代	375	60歳代	375
30歳代	375	70歳代	375
40歳代	375	80歳代	375
		合計	3,000

(6) 調査結果を見る上での注意事項

- ・グラフに使われる「n」は各設問に対する有効回答者数、「k」は有効回答件数である。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合がある。

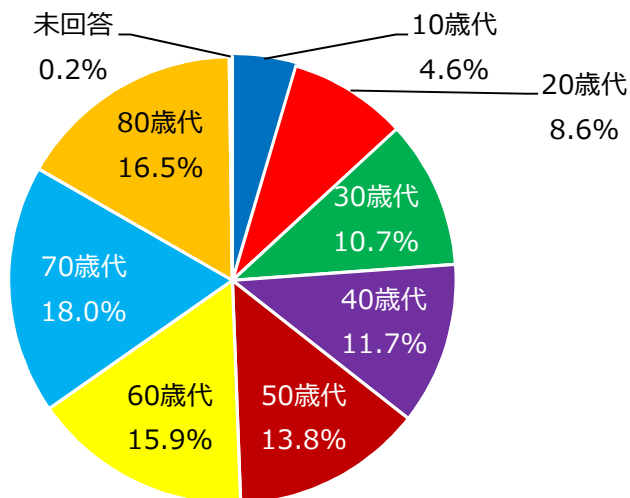
2 集計結果

(1) 性別をお答えください。



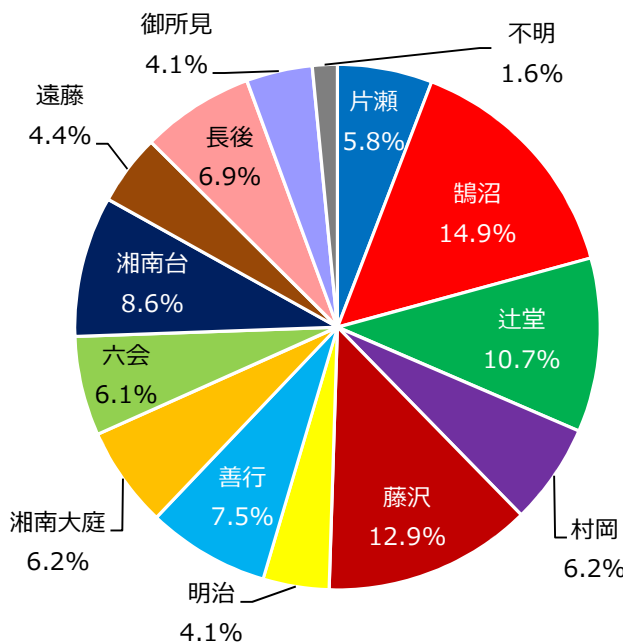
n = 1,354

(2) 年代をお答えください。



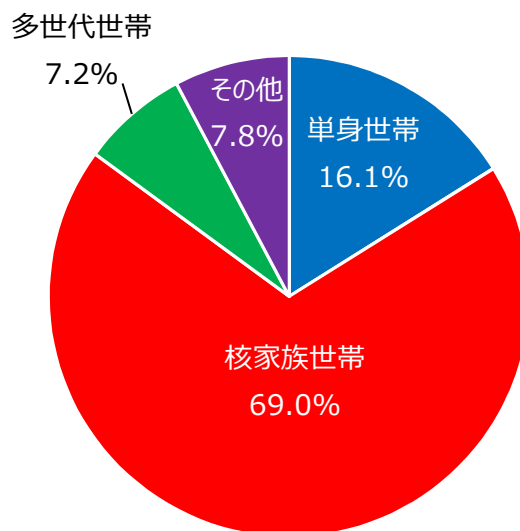
n = 1,354

(3) お住まいの地区をお答えください。



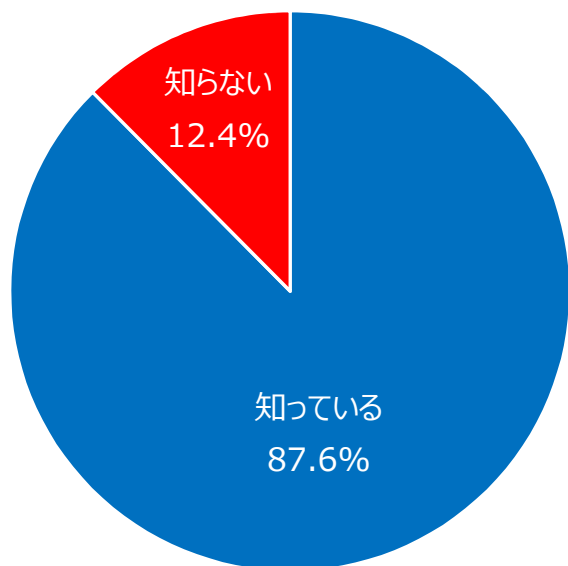
n = 1,354

(4) 世帯構成をお答えください。



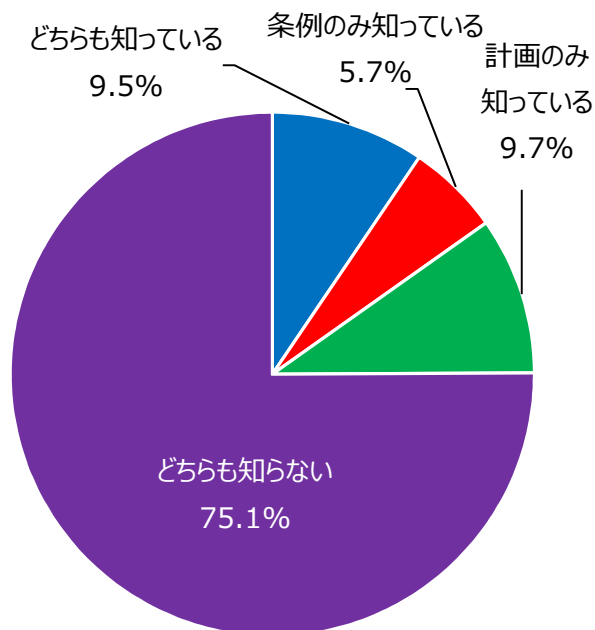
n = 1,354

(5) 「地産地消」という言葉をご存じですか。



n = 1,343

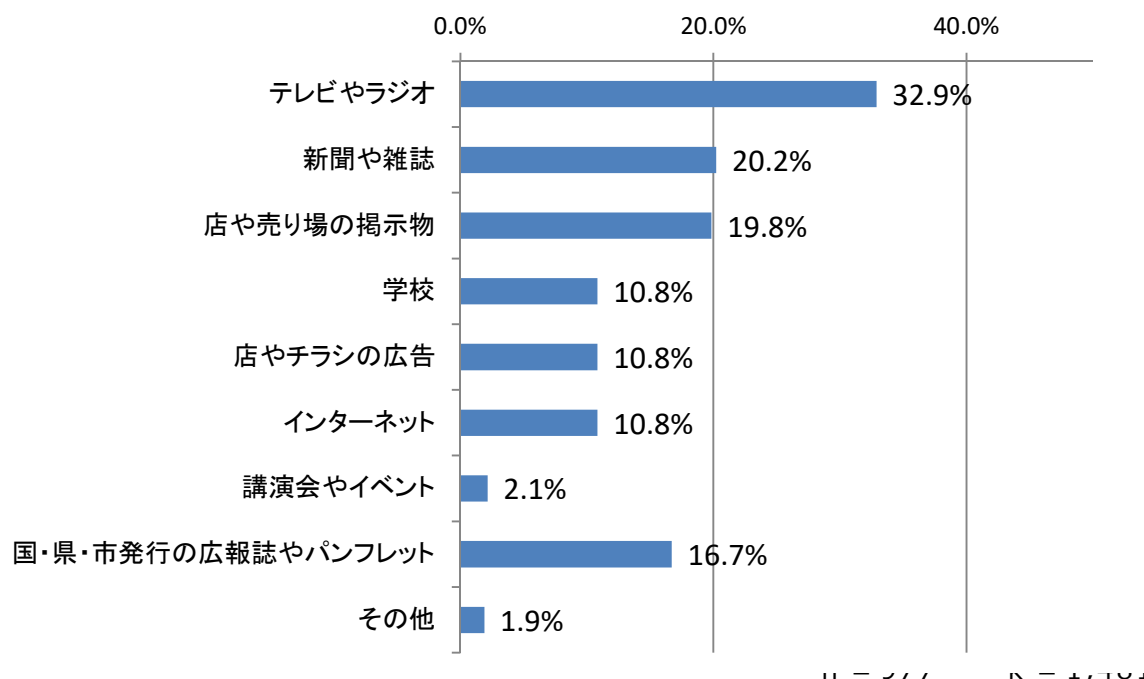
(6) 藤沢市の地産地消に関する
条例・計画をご存じですか。



n = 1,192

(7) 「地産地消」について何からお知りになりましたか。

((5) で知っている と回答した方) (複数回答可)



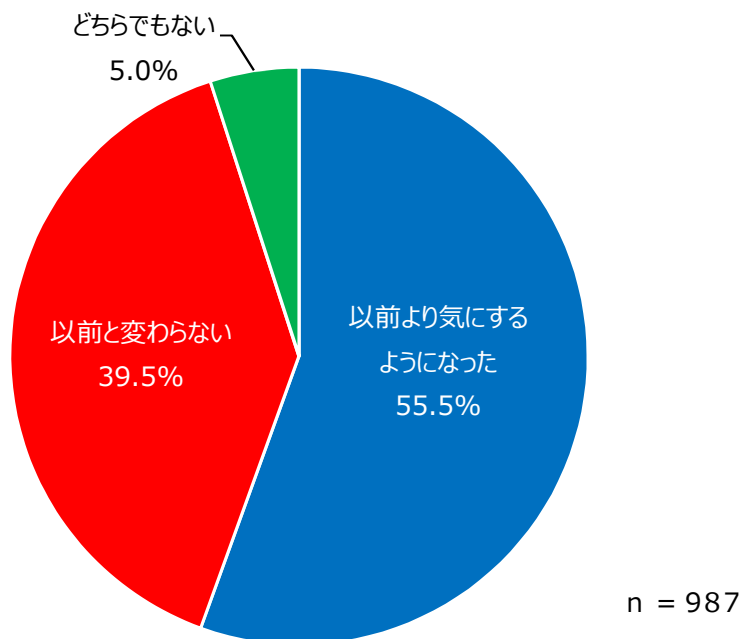
※主なその他の回答

・書籍

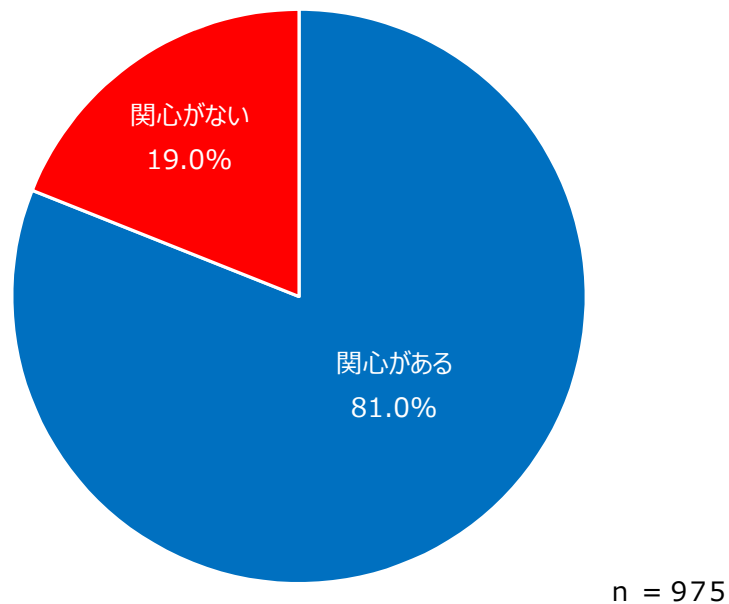
・職場

・ふるさと納税

(8) 住んでいるまちの農水産物を意識するようになりましたか。
((5) で知っている と回答した方)

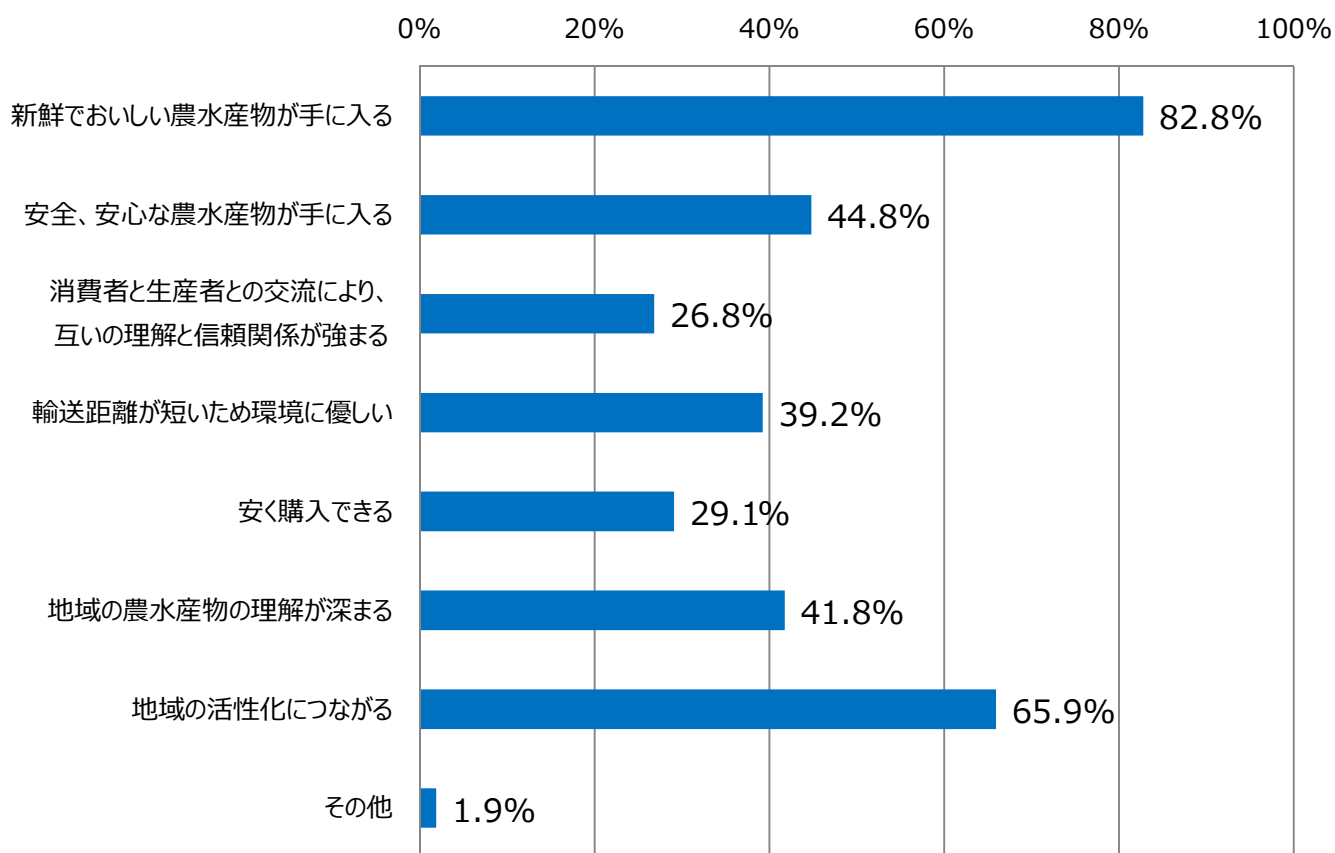


(9) 普段から「地産地消」に関心がありますか。
((5) で知っている と回答した方)



(10) 「地産地消」のどのようなところに関心がありますか。

((9) で関心があると回答した方) (複数回答可)

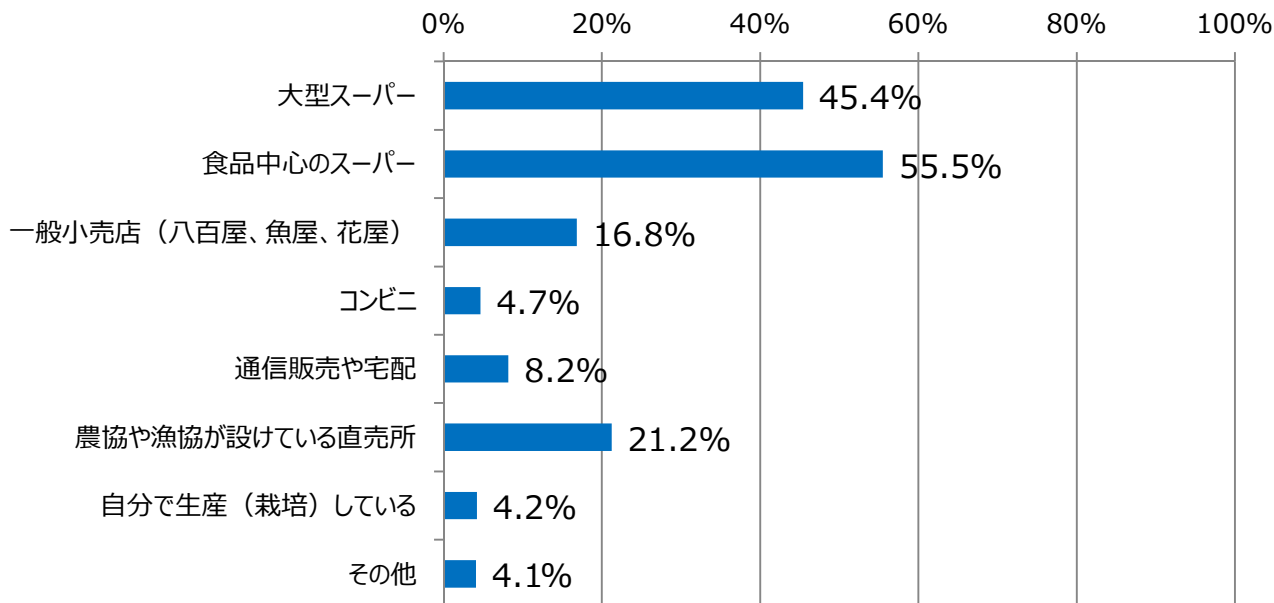


n = 793 k = 2,637

※主なその他の回答

- ・国全体の自給率を上げる。
- ・「身土不二」の考えに通じると考えるため。
- ・都市農業の多面的機能。
- ・産物が明らかになる。
- ・食育になる。

(11) 普段、農水産物はどこで入手することが多いですか。(複数回答可)

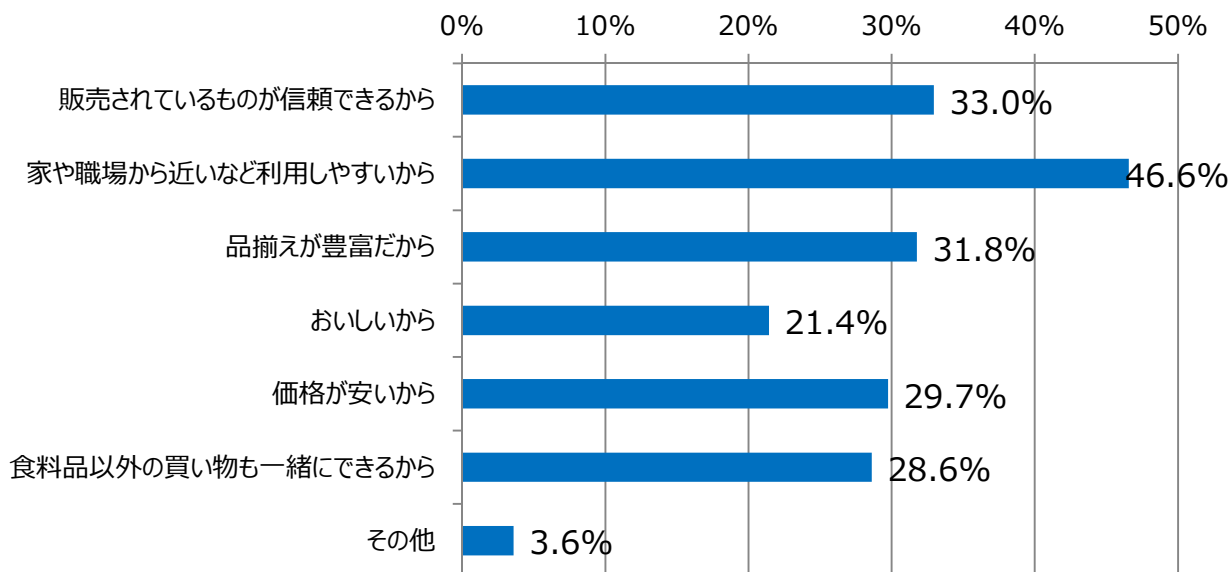


n = 1,304 k = 2,542

※主なその他の回答

- ・知人や家族
- ・百貨店
- ・農
- 家の無人販売や直売所
- ・市役所の直売所
- ・ドラッグストア

(12) (11)で農水産物を入手されている理由は何ですか。(複数回答可)

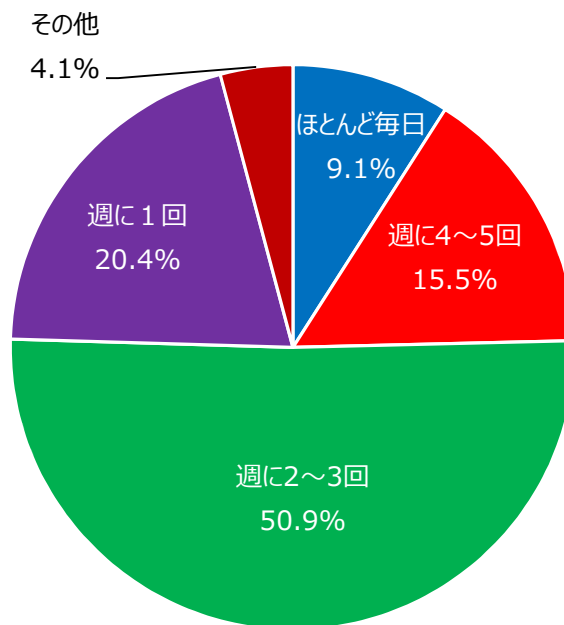


n = 1,292 k = 3,089

※主なその他の回答

- ・広告を見て。
- ・生産者の名前が示されている。
- ・地元農家の助け。
- ・安全性。
- ・自分で栽培している。
- ・無料で利用できる駐車場がある。
- ・家まで配達してくれるから。
- ・価格よりもおいしく信頼できる品を購入したい。
- ・買いたいものの特性によって使い分けている。
- ・新鮮だから。
- ・極力無農薬や無添加にこだわっているから。
- ・地産ということで愛着を感じる。
- ・旬のものが手に入るから。
- ・家族が連れていってくれるから。
- ・地域の活性化。

(13) 農水産物を購入する頻度はどれくらいですか。



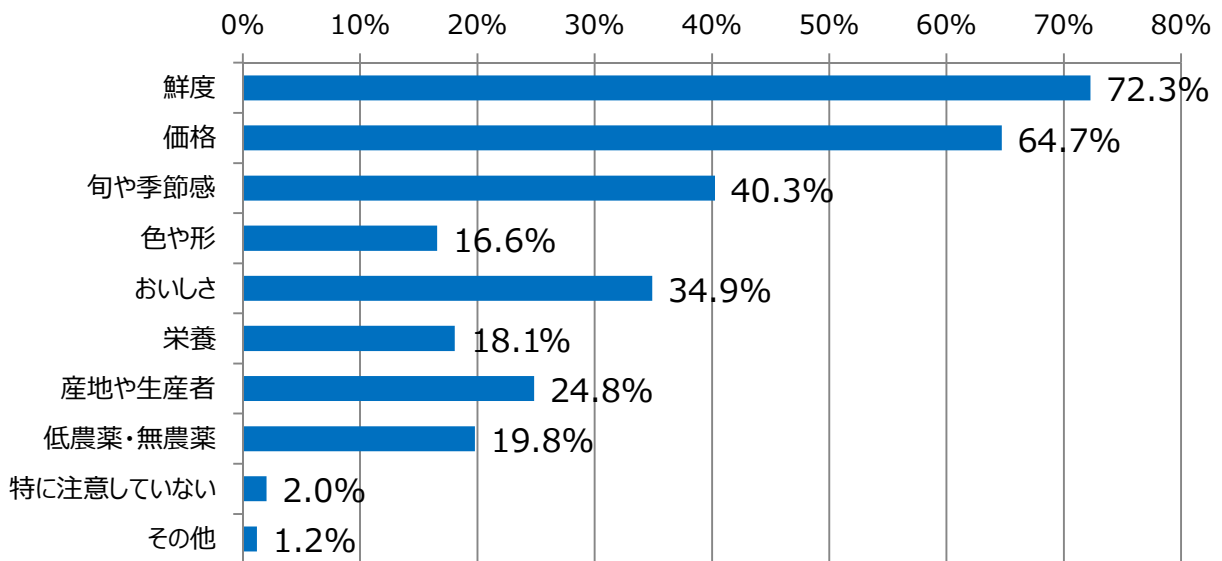
n = 1,158

※主なその他の回答

- ・時々
- ・月に1回
- ・2週間に1回
- ・自分では購入しない
- ・年に2, 3回
- ・不明

(14) 購入する農水産物について、どのようなことに注意して選んでいますか。

(複数回答可)



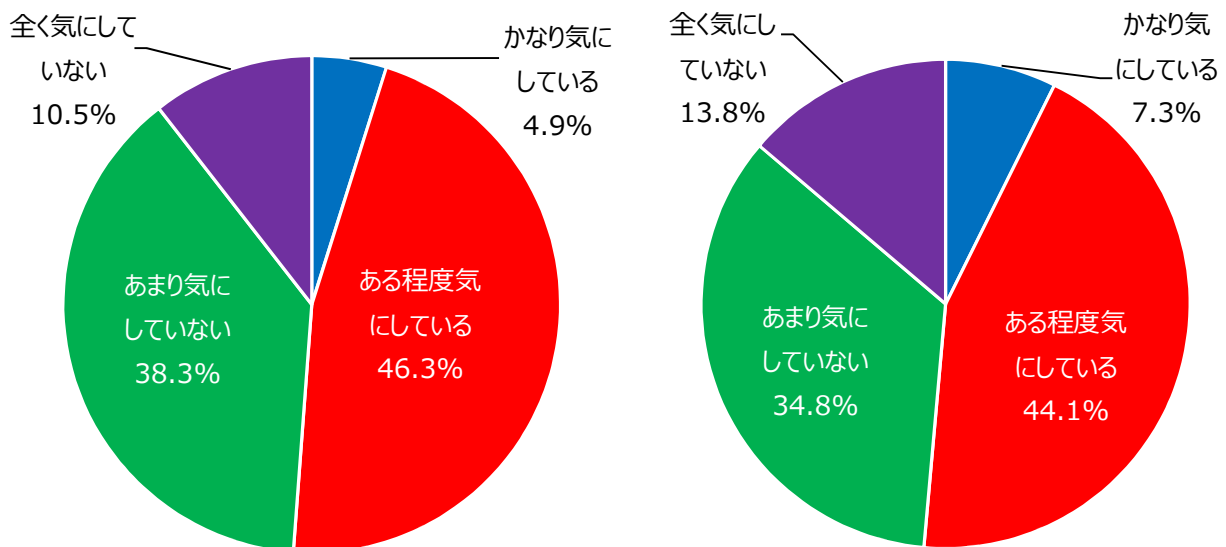
n = 1,330 k = 4,676

※主なその他の回答

- ・国産であること。
- ・大きさ。
- ・その時に食べたいもの。

(15) 購入する農水産物の産地に関して、どの程度気にしていますか。

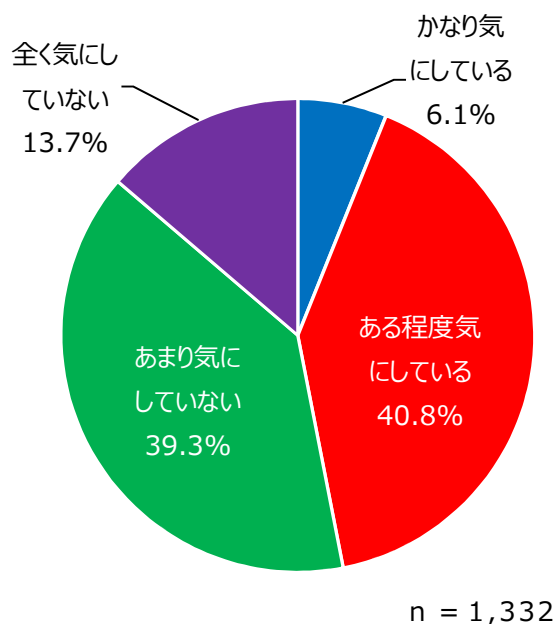
- ①ブランドとして有名な産地のものである ②藤沢産のものであること。



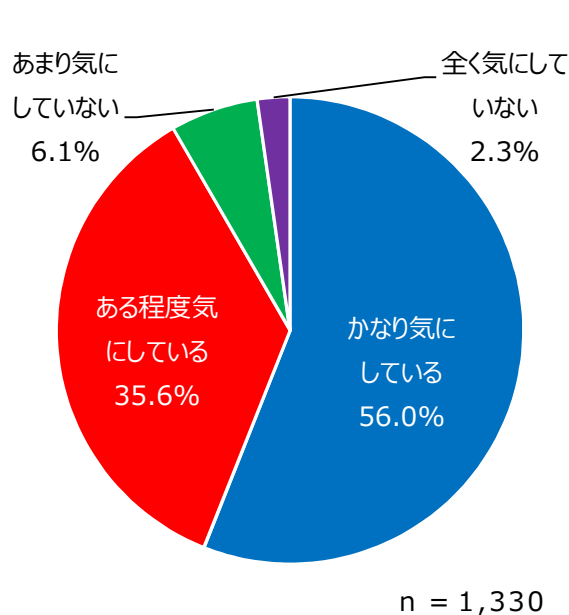
n = 1,338

n = 1,334

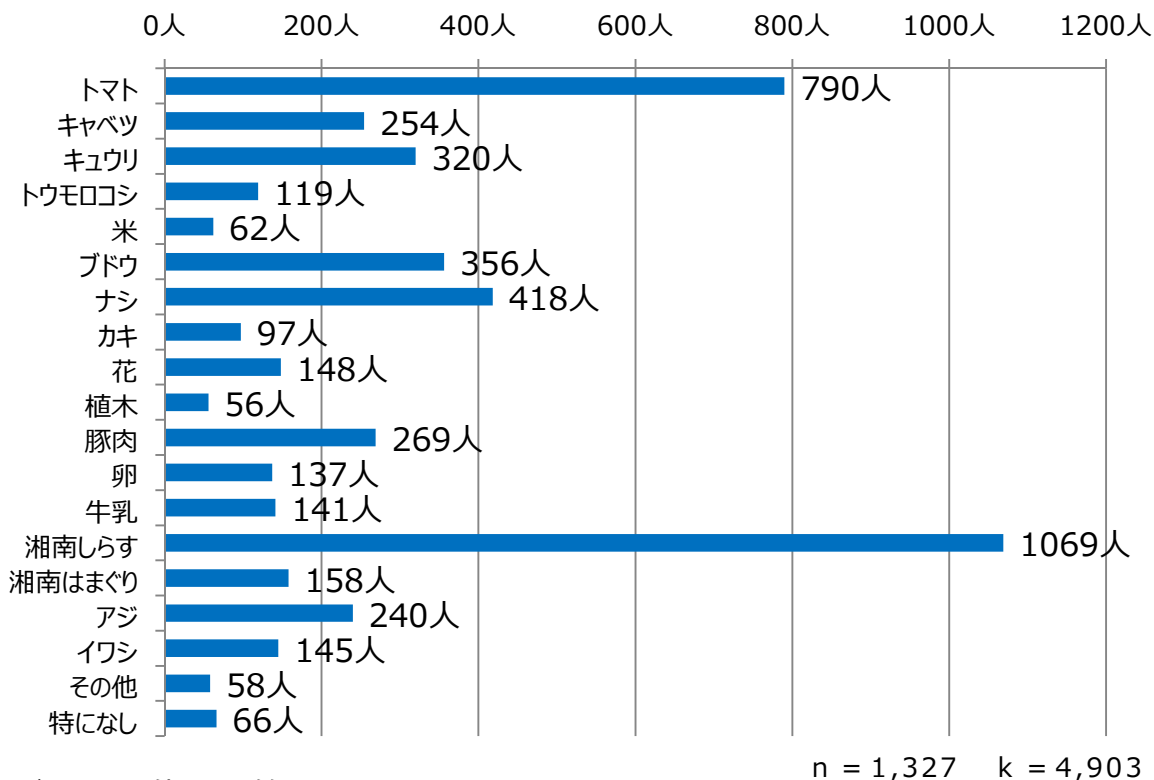
③ 県内産のものであること。



④ 国産のものであること。



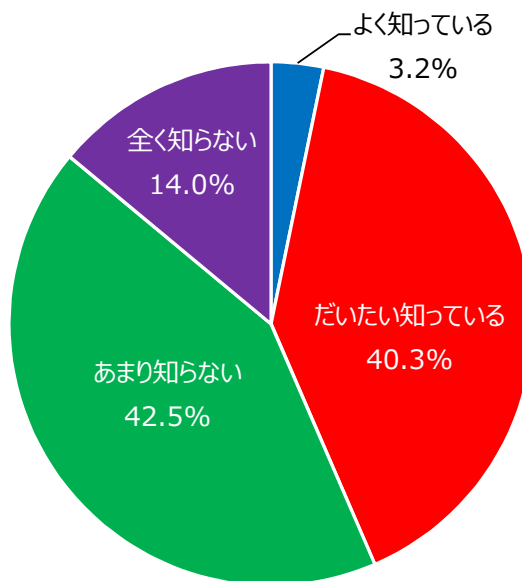
(16) 藤沢産の農水産物といえば、何を連想しますか。(複数回答可)



※主なその他の回答

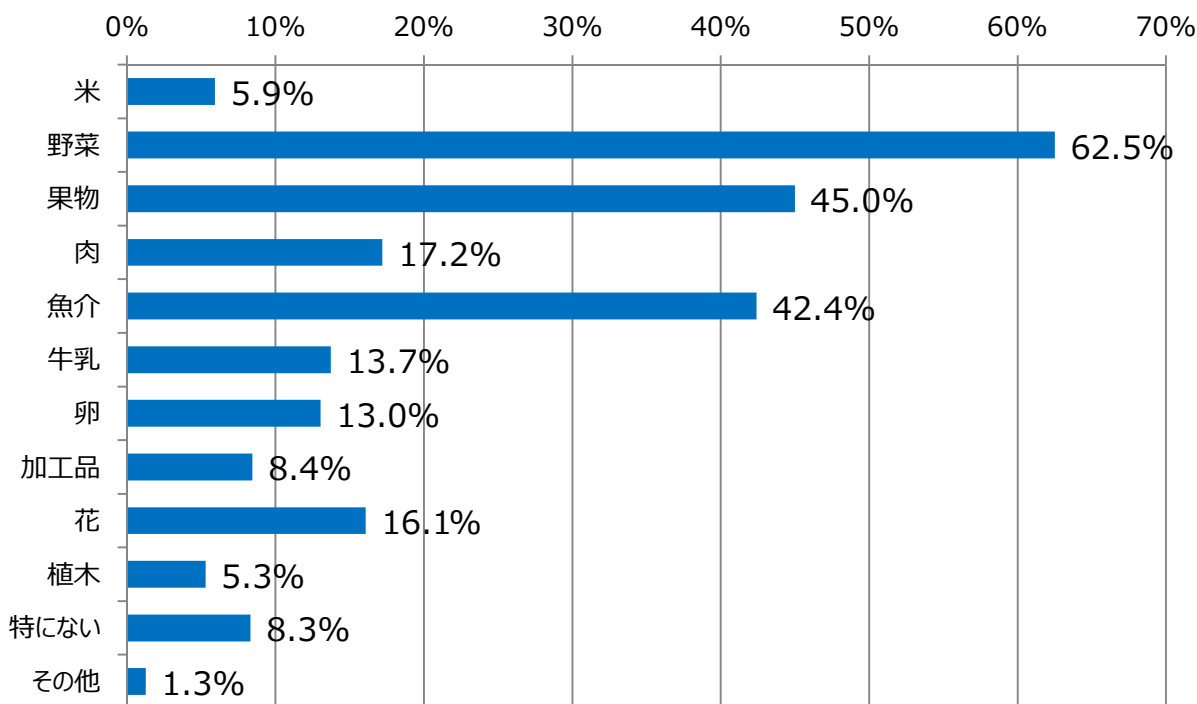
- ・菊芋 ・サニーレタス ・小松菜 ・大根 ・カボチャ ・イチゴ ・白菜 ・里芋
- ・ナス ・ながらみ ・ゴーヤ ・サツマイモ ・ニンジン ・カブ ・枝豆 ・小麦

(17) 藤沢市内で生産されている農水産物の旬の時期をご存じですか。



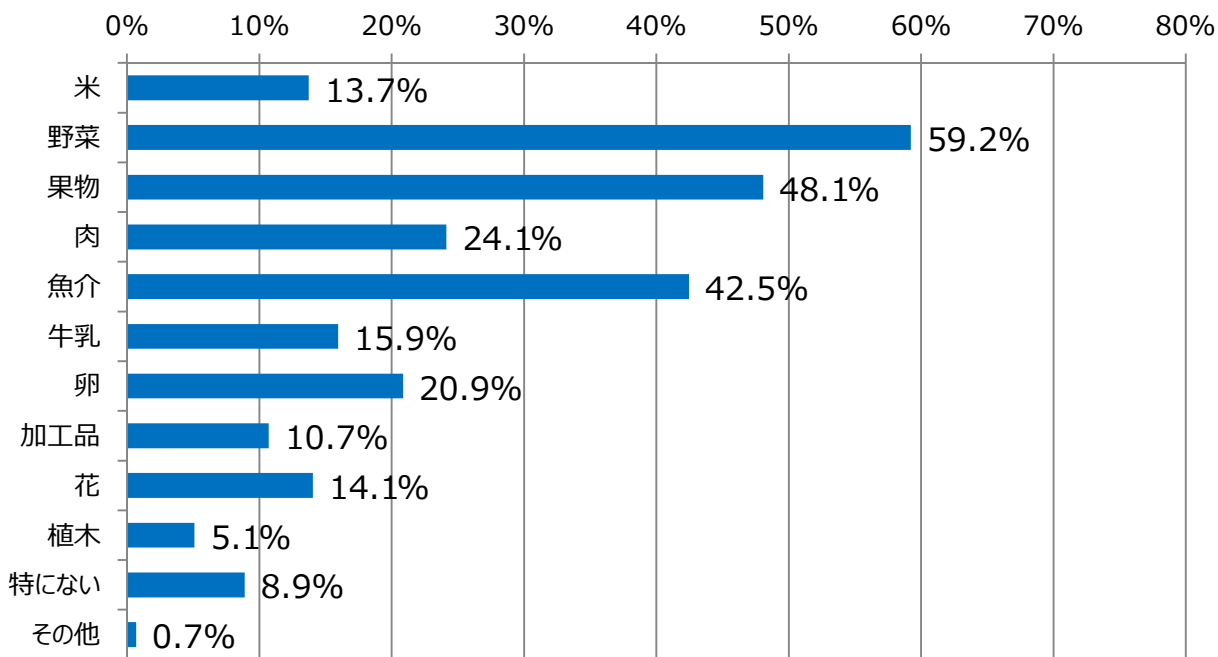
n = 1,303

(18) 購入したことがある藤沢産の農水産物は何ですか。(複数回答可)



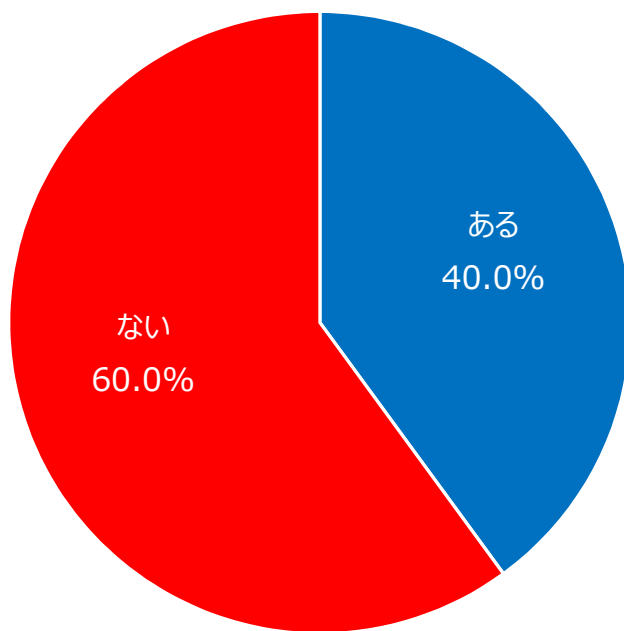
k = 1,306 n = 3,796

(19) 今後、購入したい藤沢産の農水産物は何ですか。(複数回答可)



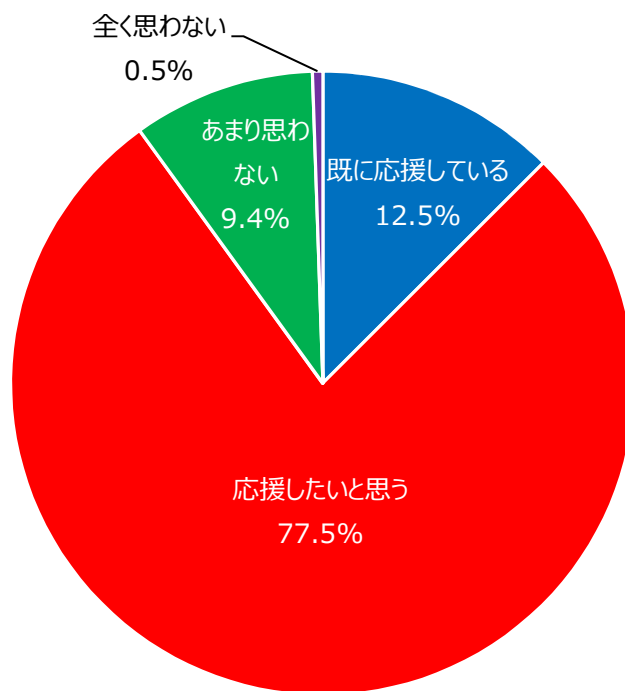
n = 1,288 k = 4,188

(20) 「藤沢産」ロゴマークを目にしたことがありますか。



n = 1,289

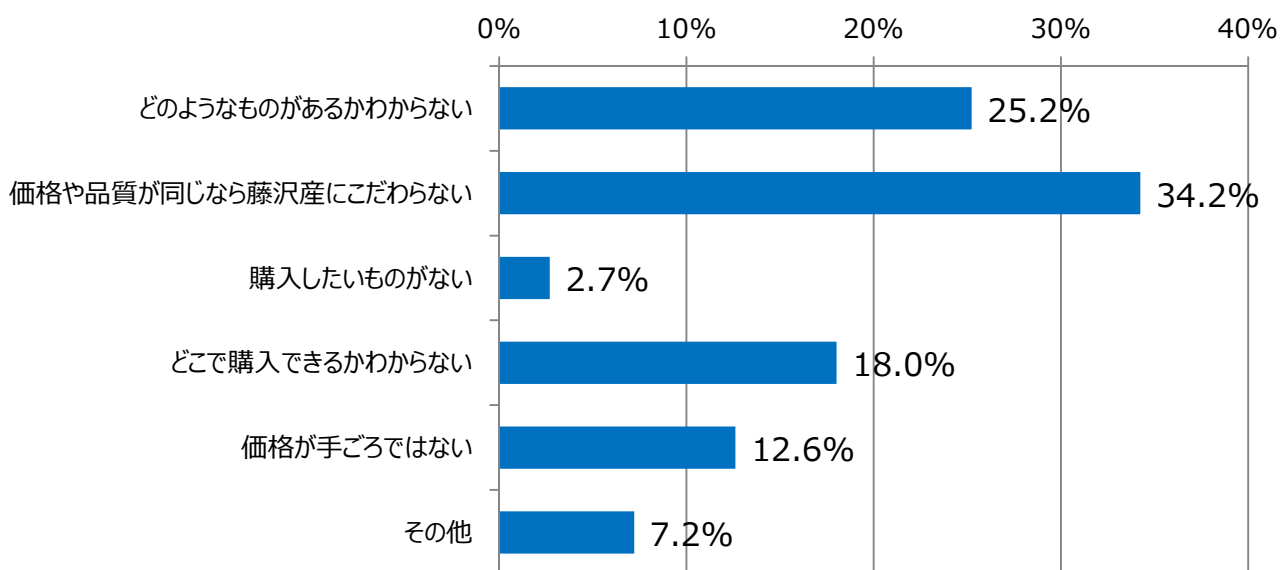
(21) 藤沢産の農水産物を購入して「地産地消」を応援しようと思いませんか。



n = 1,303

(22) 藤沢産の農水産物を購入して「地産地消」を応援しようと思わない理由はどのようなことですか。

((21) で「あまり思わない」、「全く思わない」と回答した方) (複数回答可)



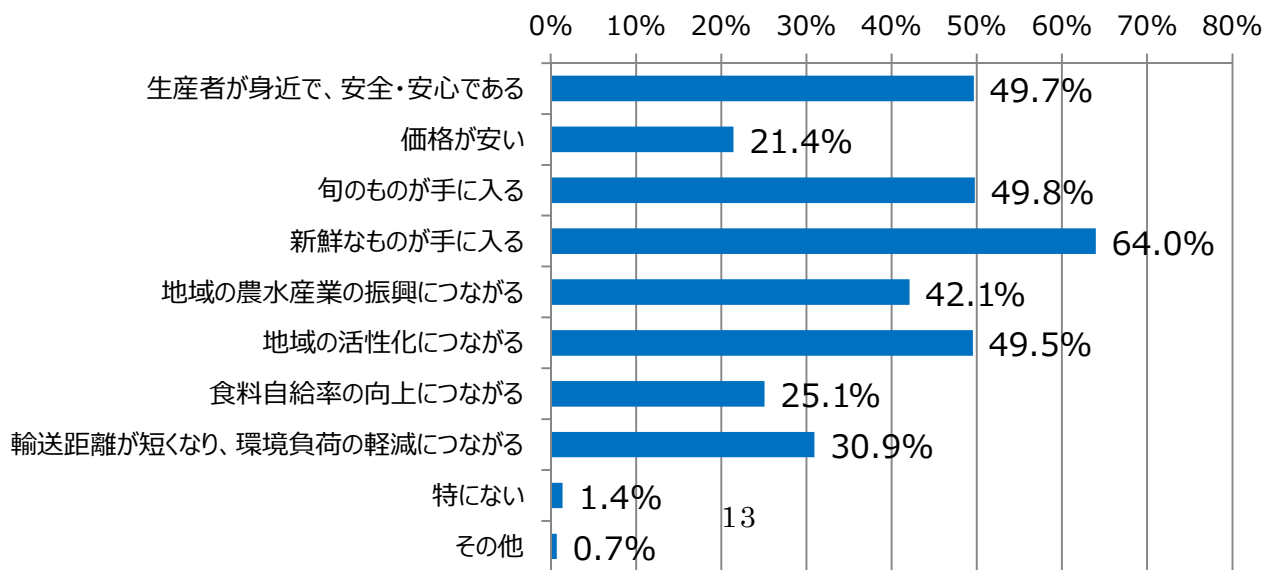
n = 132 k = 222

※主なその他の回答

- ・新鮮であればどこのもでもよい。
- ・地産地消にこだわらないから。
- ・スーパー等でもごく一部のスペースしか売り場がない。
- ・生活クラブ生協の宅配に満足している。
- ・買う物のメーカーが決まっている。
- ・味がまいち。
- ・気にしていないから。

(23) 「地産地消」のメリットとして、あなたの印象や感じるものを選んでください。

(複数回答可)

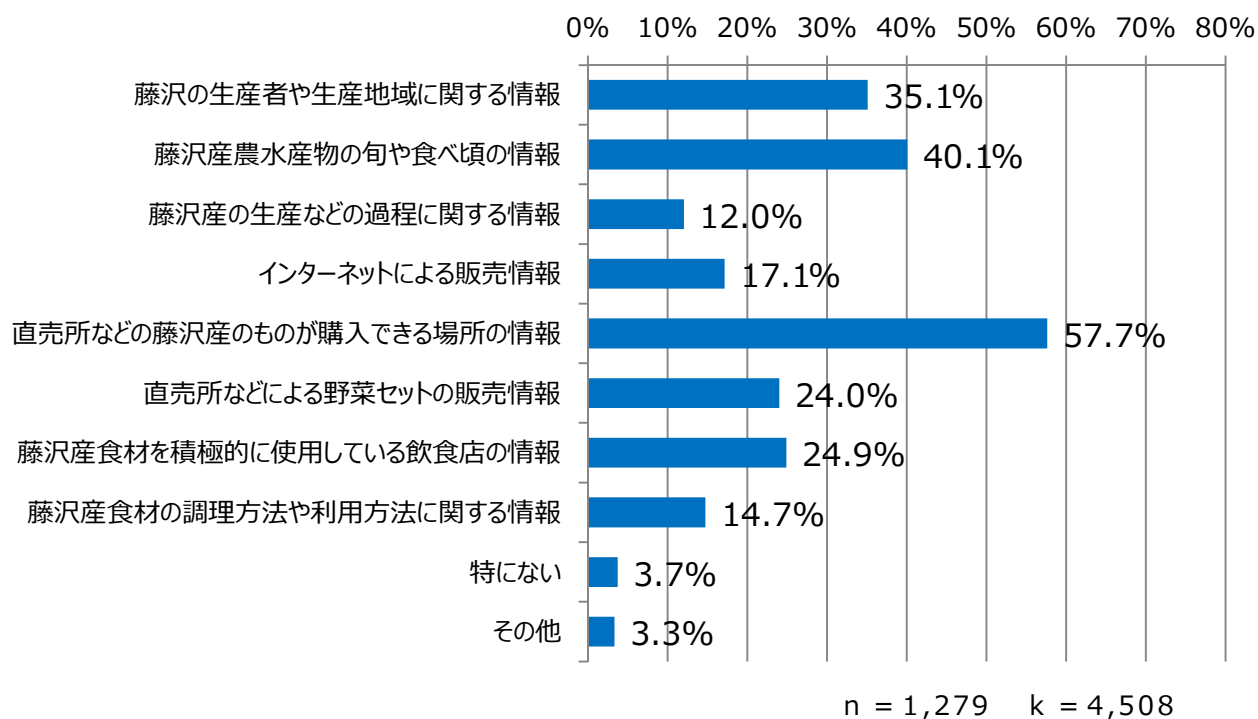


n = 1,289 k = 5,309

※主なその他の回答

- ・わいわい市場は B 級クラスが売られていてとてもいいことだと思う。
- ・地域愛が増す
- ・規格外のものを格安で買うことが出来れば生産者にもメリットになる。
- ・ふるさと愛がわく。
- ・魚類等は漁船から直接とれた魚類を江の島の市場で買える。
- ・都市農業の多面的機能。
- ・減農薬。
- ・輸送コストの削減。

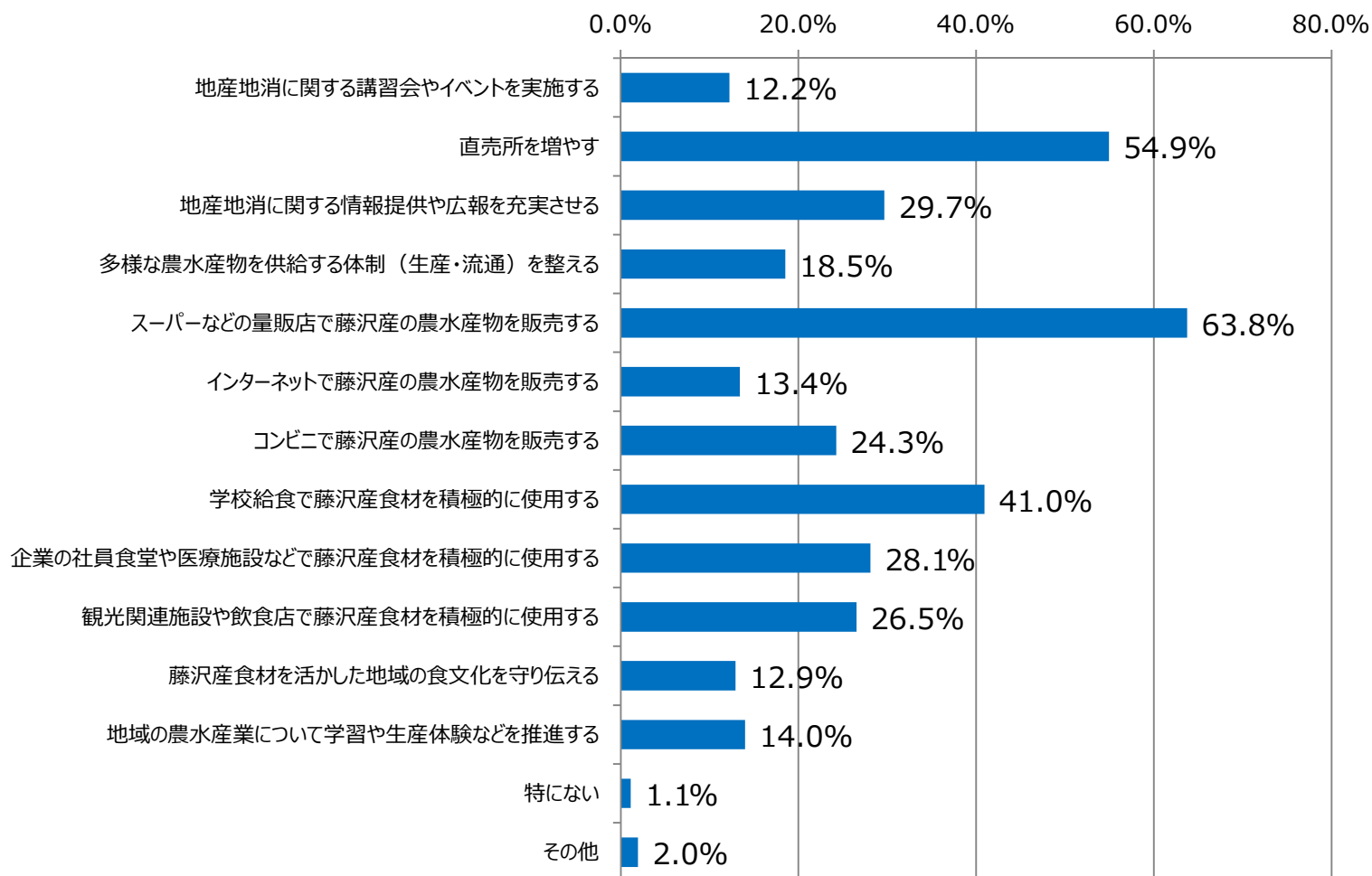
(24) どのような情報があれば、あなたは「地産地消」に取り組みやすくなると思いますか。(複数回答可)



※主なその他の回答

- ・安さもアピールできるキャンペーン広告。
- ・特性アピール。
- ・駅など目立つ場所での販売。
- ・情報が入らなくなった。なんでもネットばかりでわからない。
- ・情報よりも普段行くスーパーに手ごろ価格で売って自然に買う。
- ・スーパーで販売するものも、もっと商品をアピールしていいと思う。コーナーを設けることでより興味がわく。
- ・「おいしい藤沢」のメールを受信しているので特に不自由なく情報を得られています。
- ・広報ふじさわ等の一角に「地産地消」情報がほしい。
- ・スーパーで地産地消コーナーがあれば買うと思う。
- ・藤沢産にとらわれず湘南産として大きくアピールしてほしい
- ・特に場所が分からない。
- ・月に一回位、市民センターでの販売。
- ・特価情報、2個買ったら1個おまけなど。
- ・町内会の回覧板などの情報。

(25) 「地産地消」をより進めるためにあなたが効果的だと思う取組を次の中から選んでください。(複数回答可)



n = 1,288 k = 5,434

※主なその他の回答

- ・道の駅を作る。
- ・小・中学生に地産地消の授業を取り入れる。家庭科などで。
- ・価格を下げる。他県でも同じではメリットが少ない。
- ・駅近くで仕事の帰りに買える。
- ・巡回のファーマーズマーケット。
- ・生産地域の畑の見学ツアー(試食付き)。
- ・一日お手伝いイベント(お土産付き)などのイベント開催。
- ・ふるさと納税の返礼品。
- ・メディアで取り上げてもらう
- ・6次産業の推進加工施設の充実。
- ・藤沢駅等で直売会をやる。
- ・農家さんに減農薬に取り組んでもらいそれをアピールする。

- ・既存の店舗等を利用して手に入りやすくする、買える場所が増える。
- ・地産地消と地域ぐるみの食品ロス低減の活動が連携できてこれをアピールできれば良いと思う。
- ・販売の前に、ネットの広報を鎌倉野菜並みに徹底的やってほしい。PRの取り組みが弱過ぎます。
- ・日常的に目にする事と洒落てる事。
- ・回覧板で分かりやすく、かつ、目立つ書き方をする。
- ・イベントなどで実際に試食等が出来る場があると良いなと思う。
- ・新たな商品の開発とナラティブな商品展開。
- ・藤沢産の農水産物をつかった料理、献立、栄養などが書かれたホームページがあれば活用したいです。

(26) このアンケート及び「地産地消」についてのご意見等がありましたらお聞かせください。

- ・藤沢産の農水産物にどんなものがあるのかよく知らない。スーパーなどで藤沢産の農水産物の物産展があるとわかりやすいかと思う。
- ・直売所を増やしてほしい。スーパーで売っていても少なく、種類も少ない。
- ・市民センター等の人の集まる場所で販売してもらえば買いたい。
- ・近所のスーパーに藤沢産コーナーが常設されるとかなりハードルは下がると思う。地産地消の良さのPRもそのコーナー(売り場)に設置するとなおいいと思う。
- ・高齢者に対するPRをもっと積極的に取り組んでほしい。
- ・インターネット販売や宅配があると嬉しい。
- ・藤沢市民病院に入院した際地元のパン屋のパンが出て、目がとまった。なにげない食事の時など気づけるようにPRしてもらえると意識が高まると思う。
- ・藤沢産の農産物を使って、オリジナルな商品(お菓子・飲料・パン・フルーツ等)の開発しイベントなどで販売する。
- ・定期的に駅前とかで、イベント風直売所の開催。
- ・正直価格メリットは感じたことはない。それ以外で買いたくなる取り組みが必要だと思う。ほかで購入しにくいハーブ等を作りそれを藤沢の名店と言われてるところに納入、そのビジネスを地元高校生が手掛けるとか注目されるような新しいことが必要。
- ・「広報ふじさわ」を月に2度も発行しているのだから、この媒体を活用して旬の野菜・果物等の収穫について絵図で知らせてくれるとかの方法も考慮してほしい。
- ・もっとアイキャッチ的な工夫をするとよいのでは。例えばポップな雰囲気な「簡単レシピ」を添えるなどすると、若年層のお母さんたちも手に入りやすくまた便利に感じてくれると思う。
- ・明るい湘南のイメージを持たせることも必要かな、と思う。例えば江ノ電や新江ノ島水族館のお土産用のお菓子のパックには、かわいい物がたくさんある。そのようなコーナーも併

設すると、「ついでに」と、つい手が伸びるもの。地産の商品そのもののパックも明るく、かわいい物にはつい手が伸びると思う。

- ・まずはどこへ行けば購入できるのかを教えてください。
- ・介護施設や子ども食堂など地域にかかわる方々が積極的に活用されるのもよいと思う。
- ・なぜ地産地消をすすめたいのか、藤沢市の意図を知りたいと思った。市にとって、市民にとってどんな良いことがあるのか？多分多くはそのことを知らない。
- ・ふるさと納税の返礼品にするといい。
- ・「地産地消」を応援したいが物価高騰の為、どうしても値段が優先してしまう。
- ・商品として出せない B 級品のものをもっと（JA 以外でも）出してほしい。形が悪くても、大事に育った野菜は買いたい。
- ・藤沢産といえば〇〇というようなすぐ思いつく食品のブランド化。
- ・何かセールスポイントなのかが分かりづらいので特に藤沢産でなくても思ってしまう。例えば朝取り野菜とか無農薬とかわざわざ選びたい要素を考える。
- ・最近どんどん畑がなくなっていくように感じる。少し前まで畑だった土地が耕作をやめてしばらくすると宅地になったりしているように感じる。地産地消を呼び掛けても肝心の地元の農地がなくなっていつかは守るものがなくなってしまう。農業と漁業を守ってほしい。
- ・私は旬や食べ方など（主婦歴も短く）あまりわからないので同じものばかりになりやすいので、色んな食べ物にチャレンジできるように情報も教えていただけると嬉しい。小さい子供もいるので、食育にもなると思う。
- ・ホームページの充実をお願いしたい。
- ・生産者と消費者を結びつける事業を積極的にやってほしい。収穫体験とか生産現場での体験。親子体験などが良いと思う。
- ・藤沢産ロゴマークは知らなかった。もっとアピールし認知度をあげてほしい。
- ・家計に余裕がなくても調理された物を食べる場所（飲食店、学校食堂など）があれば無理しないで地産地消にとりくめるのではないかと思う。
- ・酒類等（農水産物を原料とした）の情報。
- ・コンビニに置いてもらい、歩いて買い物ができるようにしてほしい。
- ・買い物に行くのが大変。近くまで移動販売に来てくれたらありがたい。
- ・ラジオ、TV 等で積極的なアピール。
- ・農業に関しては JA 直売所などがあり感心が持てているが漁業に関しては知るところが少なく漁港でどんなイベントがあるのかまるで知らない。
- ・農薬をどれだけ使用したか分かる指標があると少し高額でも買う人が増えるのではないか。
- ・スーパー等に行っても地産と分かる表示があまりない様に思う。もっと積極的に表示したら良いのでは。

- ・藤沢市には名物となるメニューが無いので、地元の食材を使った名物を全国に広めると良いと思う。
- ・単身世帯が年々増加している現状。量が多過ぎて困るという人もいる。少ない量でも単価的には高くつくから別に「地産地消」にこだわらなくてもという人もいる。
- ・学校給食で地産地消を積極的に利用し子供たちにも勉強する機会を与えたら良いと思う。
- ・どういうメリットがあるのか発信していくこと、発信し続けていくことが大事だと思う。
- ・藤沢産の農水産物を販売する場所が少なく増やした方が良いと思う。特に魚介類は場所も量も増やしてほしい。
- ・藤沢市のような都市型市町村で地産地消を推進する必要はないと考えている。国産で安くておいしい食材であれば藤沢産にこだわる必要は全くないと思う。
- ・スーパー等での販売では包装がいらないと思える（野菜類等）ものも多いと感じている。無人販売所のように新聞紙などで自分で包んで購入する形式で十分。売り方にもゴミ削減の工夫をしてほしい。
- ・‘藤みのり’など希少な果物をもっと宣伝し、地域の特産物にとどまらず全国レベルの知名度にするよう、農業者への支援が足りない。
- ・単身世帯なので買って使い切れない。弁当など完成品としての購入が多くなる。地産地消の取り組みは理解応援していますがなかなか日常的に買うには至らない。
- ・後継者等の育成が必須ではないのか。

**令和 4 年度
地産地消に関するアンケート結果**

**令和 5 年 3 月
藤沢市経済部農業水産課**

〒251-8601 藤沢市朝日町 1 番地の 1

TEL 0466-25-1111 (内線 3431)

FAX 0466-50-8256

Email fj-nousui@city.fujisawa.lg.jp